

【第40回通常総会 第1号議案】 平成27年度(2016年度) 事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

I. 概要

主力のプリズム式双眼鏡の日本からの輸出(出所:財務省輸出入統計)は、数量で17万個、金額で34億円(昨年29億円、平均単価は2万円)、対前年比数量で17%増、金額で18%増と北米及び欧州の売上げ増、円安の影響もあって好調に推移した。仕向け地別輸出金額上位5カ国の高額順、及び平均単価・シェア(カッコ内)は、①米国17億円(2.3万円、49%)、②ドイツ4.3億円(2万円、12%)、③オランダ3.5億円(4万円、10%)、④サウジアラビア2.2億円(6千円、6%)、⑤香港0.6億(4万円、2%)、ちなみに一位の米国は前年同期比金額ベースで6億増であった。

同じくプリズム式双眼鏡の自主統計(出所:生産販売統計、産地直送含む)では、国内販売が前年比数量で15%減、金額で7%減であった。一方、輸出では数量で10%増、金額で21%増と円安効果が表れた。金額ベースでの国内対輸出比率は16%対84%(前年20%:80%)で輸出が伸長し、業績に寄与した。なお、国内を含む売上比率は、①北米50%、②欧州25%、③国内16%、④その他9%であった。

イベント出展では、天体系(星まつり)で3回(原村星まつり、胎内星まつり、国立天文台三鷹星と宇宙の日)、野鳥系で2回(ジャパンバードフェスティバル、大阪バードフェスティバル)、東京都関連で2回(練馬まつり、産業交流展)、カメラ映像系で1回(CP+2016)、合計8回に出展した。初心者・入門の方々には、各種光学機材の使い方・楽しみ方を実感していただけた。また、原村星まつり・胎内星まつりでは、メーカー専門家によるご協力のもと、マニア・上級者への双眼鏡の清掃・点検サービスや要修理の持込み品に対しても、その場で修復できるものとメーカー様をご紹介するなど丁寧な対応に感謝されている。

平成27年度(2015年度)の当工業会各事業の具体的内容について、以下の通り報告する。

II. 事業報告

1. 会議

1.1 **第39回通常総会:**平成27年5月22日(金)、池袋東武百貨店バンケットホールにて開催し、議案は全て承認された。

【議案】

第1号議案 平成26年度事業報告書及び収支決算書承認の件

第2号議案 平成27年度事業計画書承認の件

第3号議案 平成27年度会費の額及びその納入方法承認の件

第4号議案 平成27年度収支予算書承認の件

1.2 総会懇親会は平成27年5月22日(金)、池袋東武百貨店バンケットホールにて開催、出席者59名(事務局含む)。賀詞交歓会は平成28年1月29日(金)、池袋東武百貨店バンケットホールにて開催し、71名の出席をいただいた。

1.3 理事会:新公益法人改革の法律及び定款にもとづき、継続事業報告を定期的実施し内容・進捗を確認した。

①5月8日(金):第39回通常総会上程議案の審議、総会運営要領の件、その他。

②8月28日(金):継続事業1~6の実施進捗状況報告、イベント出展報告(8月)他。

③11月27日(金):継続事業1~6の実施進捗状況報告、イベント出展報告(10月~11月)、他。

④平成28年1月29日(金):継続事業1~6の実施状況報告、財務省統計見直し、理事会日程他。

⑤平成28年3月11日(金):第40回総会上程議案の審議、継続事業1~6の実施状況報告他。

1.4 総務広報委員会:平成28年3月2日(金):平成28年度事業計画、及び収支予算書を審議した。

1.5 技術委員会:平成28年2月5日(金)

主な議題としては検査関連機器、分光透過率測定、依頼検査等々の依頼件数と動向について事務局報告後、光軸検査機の動向と課題、技術研修会の実績と今後のテーマ検討等々について議論した。

平成27年度の技術研修会実績は、4.6.2研修会事業にて掲載。

なお、平成28年度の技術研修会は、1回目は開催決定、2回目は検討中

◆6月29日(水)、(株)iPSポータル代表取締役社長・村山 昇作様「世界に唯一の天体望遠鏡博物館の開館にあたって」

1.6 業界活性化委員会

主な議題としては、イベント出展事業の計画と結果、CP+望遠鏡セミナーと工業会ブース運営の在り方、各委員にアンケートをおこなう、統計資料の現状把握と見直し、市場拡大のための業界活性化などについて議論した。

なお、会議は平成27年-4/21(火)、7/3(水)、9/9(水)、12/9(水)、計4回実施した。

2. 会員入会情報

- 2.1 入会(賛助会員) ・株式会社エムアイシー (平成27年6月1日付)
・日の出光学 (平成27年6月1日付)
- 2.2 退会、なし
- 2.3 平成28年3月31日付現在の会員数:正会員数31社、賛助会員数8社(前年比2社増)

3. 歴史関連の寄贈品及び寄託品を下記の方々より賜りました。

なお、最新・現行品の双眼鏡、ゴルフ距離系(イベント用展示)などは記載を省略させていただきました。

- 3.1 7月1日(水)、(株)ときわ光学(石井社長)様より、粘土のつぼ溶解での光学硝子塊(材質BK7、7.5Kg)
- 3.2 8月7日(金)、宮野 友喜(日の出光学)様より、日本光学製(現ニコン)双眼鏡9×35 7.3°
- 3.3 8月27日(金)、(株)大塚光学様より、昭和30年代の各種双眼鏡を14台を寄贈
- 3.4 8月27日(金)、鈴木 雅晴(五藤テレスコープ(株))様より、双眼鏡10×50 6.5°MODEL104
- 3.5 8月27日(金)、リコーイメージング(株)(渥美)様より、PENTAX双眼鏡10×18 6°FB-10ローズゴールドを寄託
- 3.6 8月27日(金)、中村 由之(富士フィルム)様より、FUJINON RB双眼鏡7×24 7.5°
- 3.7 8月27日(金)、成和光学(梶原取締役)様より、ミクロンタイプ双眼鏡3台(YASHICA、Vixen、C.N.C)
- 3.8 8月27日(金)、野村 一弘(ケンコー・トキナー)様より、AF-1 8×24 7°双眼鏡1台(創立25周年記念)
- 3.9 11月4日(水)、ペトリ工業(株)(草間代表取締役社長)様より、光学硝子インゴット・火割品三種(BK7、赤色、黄色)
- 3.10 12月8日(金)、鈴木 雅晴(五藤テレスコープ(株))様より、日本光学製(現ニコン)対空式12センチ双眼鏡
- 3.11 12月22日(火)、中島 隆(国立科学博物館)様より、日本光学製(現ニコン)目盛り入り軍用双眼鏡

4. 継続事業報告

4.1 国際標準化規格関連事業

- 4.1.1 [国内委員会の開催]:平成27年-5/14(木)、10/19(月)、平成28年-3/7(月)、計3回実施した。
主な議題は、SC4国際会議報告と今後の課題、ISO14490-7の分解能のJIS化原案作成委員会発足について、ISO14490-5透過率測定方法、ISO投票結果(FDIS 14132-1望遠鏡用語一般他)と各国コメントの検討と今後の対応に関する審議、日本規格協会、JIS原案作成委員会公募、及びヒアリング結果など。
- 4.1.2 [SC4/WG2国際会議]:平成27年4月15日(水)~17日(金)ロシア連邦サンクトペテルブルグ市で開催された国際会議に参加した。内容は第39回通常総会にて報告しているので割愛する。次回国際会議は当初予定されていたが、本年度は国際会議が中止される旨、ロシア事務局から連絡があり電子会議、或いは電子メールで対応する。
- 4.1.3 [SC4 望遠鏡(Telescopic Systems)の構成メンバー]
新議長:V. Yashin(ロシア)、事務局:GOST、Dr. R.Andreyev(ロシア)
作業グループ:WG2(ライフルスコープ)については、当面の作業項目が終了したので近く解散の見込み。
Pメンバー(9ヶ国):オーストリア、中国、ドイツ、日本、ルーマニア、ロシア、イギリス、アメリカ、韓国
Oメンバー(6ヶ国):フランス、ポーランド、スロバキア、スイス、スペイン、メキシコ
- 4.1.4 [SC4 活動内容と総括]
TC172/SC4は、「光学及びフォトンクス関連の分野のうち、望遠鏡の用語、性能特性、試験方法における規格」を制定する技術委員会であり、1992年10月にサンクトペテルブルグで開かれた第1回国際会議でSC4の活動が始まり、およそ20件の規格の審議が進められてきた。WG1、3、4、5が総ての審議を終了して、活動は休止中であり、現在はWG2のみが実質的な活動を行っている。WG1(単眼鏡、双眼鏡、スポッティングスコープ):コンビーナ(ロシア)休止、WG2(ライフルスコープ):コンビーナ(オーストリア)活動中、WG3(天体望遠鏡):コンビーナ(日本)休止、WG4(試験方法):コンビーナ(ドイツ)休止、WG5(ナイトビジョン):コンビーナ(ロシア)休止。
SC4として、2002年に最初の規格を発行して以来これまでに20件の規格を制定、発行している。現在、WG2が14490-3望遠鏡試験方法(ライフルスコープ)、14132-3 望遠鏡用語(第3部:ライフルスコープ用語)、14135-1 望遠鏡特性(ライフルスコープ通常品)、14135-2 望遠鏡特性(ライフルスコープ高級品)の改訂版を準備中である。また、初期に発行された規格は定期見直し時期が到来しており、見直し修正または改訂について活動している。SC4国内委員会は、投票やコメントはもとより、これらの作業や審議に積極的に関わり、検討・討議を行なっている。

4.2 ホームページ関連事業

平成26年度事業報告・収支報告、及び平成27年度事業計画・収支予算書(6月)、会員名簿(住所変更、URLなどは適時対応)、財務省統計(当初は月初、下半期より三ヶ月毎の更新に変更)、イベントカレンダーの更新(適時)、CP+2016及びセミナーの更新(2月)など更新をおこなった。

また、会員専用ページに関しては、双眼鏡・望遠鏡歴史展示室開設の9月9日を目標に進める。

4.3 イベント関連事業

4.3.1 **映像総合展示会CP+2016** 会期:平成28年2月25日(木)～28日(日)、会場:パシフィコ横浜、主催:(一社)カメラ映像機器工業会、協賛:(一社)日本写真映像用品工業会、協力:(一社)日本望遠鏡工業会、その他。

CP+全体の来場者実績67,792人(目標7万人、達成率97%、昨年来場者は67,617人)。

また、望遠鏡ゾーンの工業会ブースでのセミナーは今年で6回目となるが、約500名(CP+来場者比0.8%)の方が聴講された。セミナー講師は12名(初の女性講師含む)、講演数13本、内訳は野鳥系3本、天体系8本、その他2本(マニュアルレンズ)の構成でおこなった。天体系ではデジカメによる星景写真講座は人気が高く、機材と画像処理、ロケハン、データ解説にはマニアのリピータからは喜ばれている。

① エンジョイフォトセミナー

講師:飯島 裕氏、平成28年2月28日(土)、11:00～12:00 飯島 裕氏による「見て撮って、星を楽しもう」では、来場者は約200名と盛況。デジカメの進化に伴い星景写真が撮影しやすくなり、長時間撮影の合間に星空を肉眼や双眼鏡で楽しむスタイルと、双眼鏡の説明と選定などは聴講者の関心を呼んだ様子であった。

4.3.2 野鳥関係

① ジャパンバードフェスティバル

会期:平成27年10月31日(土)～11月1日(日)、会場:千葉県我孫子市手賀沼親水公園他

主催:ジャパンバードフェスティバル実行委員会、出展:工業会関連6社、入場者数:約2.5万人

今回は二回目の出展でメーカー出展社とは独立した配置に恵まれた。出展各社では最新商品を展示し、量販店ではわからない光学の見え味、操作性などが確認でき賑わいをみせていた。工業会ブースでは、構造理解に適したカット双眼鏡・光学硝子(火割品ブロック材)には関心が多く集まった。また、各社商品(望遠鏡・双眼鏡・スケルトンスタビ付き双眼鏡・単眼鏡・ゴルフ距離計・ライフルスコープ・実体顕微鏡)なども実際に覗かれ特にエントリーの方たちに喜ばれた。

② 大阪バードフェスティバル

会期:平成27年11月14日(土)～15日(日)、会場:大阪市長居公園、自然史博物館

主催:大阪市立自然史博物館、出展:工業会関連8社、(一社)日本望遠鏡工業会、入場者数:約1.5万人
事務局と運営に関してイベント名称と出展料との関係他について会期中に打合せをもった。

4.3.3 天体関係

① 原村星まつり

会期:平成27年8月7日(金)～9日(日)、会場:長野県諏訪郡原村、八ヶ岳自然文化園内

主催:原村星まつり実行委員会、出展:工業会関連6社、(一社)日本望遠鏡工業会

② 胎内星まつり

会期:平成27年8月21日(金)～23日(日)、会場:新潟県胎内市胎内平

主催:胎内星まつり実行委員会、出展:工業会関連9社、(一社)日本望遠鏡工業会

③ 三鷹・星と宇宙の日

会期:平成27年10月25日(土)、会場:国立天文台三鷹キャンパス 芝生広場

主催:自然科学研究機構 国立天文台、東京大学、総合研究大学院大学

出展:工業会関連5社、(一社)日本望遠鏡工業会、入場者数:約5千人

4.3.4 その他イベント

① 練馬まつり

会期:平成27年10月18日(日)、会場:東京都練馬区としま園

主催:東京都練馬区、出展:(一社)日本望遠鏡工業会、入場者数:3.3万人

② 産業交流展(東京都中小企業支援 異業種交流)

会期:平成27年11月18日(水)～20日(金)、会場:東京ビックサイト

主催:東京都、出展:(一社)日本望遠鏡工業会、入場者数:1.4万人

4.4 調査広報事業

4.4.1 公式発表されている財務省関税局輸出入通関統計(双眼鏡、単眼鏡、ライフルスコープ等)をホームページに掲載すると共に会員向けには会報内に電子メールにて配信した。なお、会員企業による自主統計は継続中。

4.4.2 国内外の市場・流通動向:諸統計にて掲載。

4.4.3 各種イベント案内:ホームページに掲載すると共に会員向けには会報(電子メール)にてお知らせした。

4.4.4 事業成果の普及:通常総会にて承認後、ホームページに掲載した。

4.5 関連団体提携事業

4.5.1 軽機械センター運営協議会への参画事業:中国・欧州情報収集

- ・6月4日(木)、幹事会(会計報告・事業計画)に出席、石井北京事務所所長の中国事情の報告会
平成28年3月28日付(月)、平成28年予算書審議に関して電子メールでの実施、及び予算承認をおこなった。

- ・ 会員構成: ビジネス機械・情報システム産業協会、日本機械輸出組合、JETRO、(一社)日本時計協会、(一社)カメラ映像機器工業会、(一社)日本縫製機械工業会、(一社)日本望遠鏡工業会
 - ・ 会員団体との交流・意見交換
7月7日(火)、カメラ映像機器工業会CP+実行委員と打合せ(CP+2015総括とCP+2016対応)
- 4.5.2 日本光学工業協会への事業運営参加: 国際標準化規格、JIS関連、技能検定等々、TC172活動報告の発行
- ・ 6月4日(木)役員会(事業報告&会計報告、事業計画&収支予算書)に出席
 - ・ 会員構成: 日本顕微鏡工業会、日本光学測定機器工業会、日本医用光学機器工業会、(一社)カメラ映像機器工業会、(一社)日本測量機器工業会、(一社)日本写真映像用品工業会、(一社)日本望遠鏡工業会
- 4.5.3 (一社)日本写真映像用品工業会との業務提携: CP+協力、各種イベントにて用品年鑑を配布。
6月2日(火)フォトネキスト見学・情報交流、6月17日(水)セミナー&会員交流会に参加、12月10日(木)定時社員総会オブザーバー出席・会員交流忘年会に参加
- 4.5.4 (一社)天体望遠鏡博物館(四国さぬき市、結願の里)との業務提携: 3月12日(土)オープニングセレモニー(観望会、懇親会)に参加し、関連企業、ボランティア、地域の方々とも交流を深めた。また、各社最新カタログを今後の展示活用として送付した。
- 4.5.5 日本天文協議会(2010年9月9日発足)への参画:
- ※ ・ 今後天体関係に関する情報と連携を取りやすくするため参画することとした。
 - ・ 理事会審議を経て(1月29日付)、入会申込は承認済み(2月18日付)。なお、運営委員には事務局が対応。
 - ・ 国立天文台情報センター・縣室長の紹介により、みんなで報告・国際光年2015「宇宙からの光」総括シンポジウム平成28年1月11日(月・祝)に参加した。
 - ・ 日本天文協議会(抜粋): 世界天文年2009の成果を引き継ぎ、日本の天文研究、普及・アマチュアが一体となって、天文と科学の理解を日本の社会に広げるための合同組織(会長: 海部 宣男)です。
 - ・ 会員構成: (公社)日本天文学会、自然科学研究機構 国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、日本天文愛好者連絡会、星空を守る会、(一社)日本望遠鏡工業会
- 4.5.6 双眼鏡貸出の実施:
- ※ 原村星まつりが開催される八ヶ岳自然文化園からの要請があり、観望用に適した7×50を中心に20台貸し出した。3月の土曜日に3回おこなったが、天気にも恵まれ天体観望会は盛況だったとのこと。
- 4.6 **経営環境関連事業**
- 4.6.1 事業環境整備事業: 貿易・通商問題、FTA、TPP等々セミナーに参加し情報収集した。
- 4.6.2 研修会開催事業(技術委員会主催)
- ① 4月1日(水)、(独)国立科学博物館中島隆様による「双眼鏡の歴史、続編」を実施した。
 - ② 7月3日(金)、高輪オプトコンサルティング代表・加藤 欣也様による「光学設計・技術の紹介」を実施した。
 - ③ 11月4日(水)、(独)国立科学博物館・西城 恵一先生による「見せた天体望遠鏡、見た天体望遠鏡」を実施した。
- 4.6.3 部会活動事業 1.5 業界活性化委員会にて記述。

5. 検査・測定機器

5.1 検査依頼: 合計69件 (昨年85件)

依頼検査・性能検査(35件)、検定・校正(視度望遠鏡・ダイナメータ・光軸検査器: 21件)、分光透過率(13件)

5.2 検査器具販売: 合計175件 (昨年146件)

視度望遠鏡(66件)、携帯型光軸平行器(7件)、ダイナメータ(16件)、ランプ(86件)

6. 行政府機関等への調査協力

6.1 経済産業省産業機械課: セーフティーネット調査

主力のプリズム式双眼鏡に関して、自主統計をもとに生産・販売動向を回答した。

調査期間はH25年～27年、1月～3月(5月中旬回答)、4月～6月、7月～9月、10月～12月、年4回

6.2 東京都労働経済局商工振興部・工業振興課: 東京都概要調及び業種別動向調査、11/6(金)回答済み

動向調査期間: 平成26年10月～平成27年9月、概要調: 平成27年10月末

中小企業支援事業説明会への出席: 平成28年3月25日(金)

7. その他

歴史関連事業は広報活動の一環として、国立科学博物館からのご協力、企業及び個人から寄贈、或いは寄託していただきました多数の双眼鏡・望遠鏡に関しましてはお礼申し上げます。展示室の照明器具、入口扉の硝子材への交換、展示ショーケース4台を購入し、双眼鏡・望遠鏡を仮配置いたしました。今後、既存のサイドボードにも貴重な双眼鏡、光学硝子、カット双眼鏡、歴史書籍、社内史なども順次配置し、整備を進め一般公開を可能にする。